

AD ALTIORA SEMPER

神戸市外国語大学 学術情報センターだより

vol. **53**

2020年11月30日

【編集・発行】

神戸市外国語大学

学術情報センター



AD ALTIORA SEMPER (アド・アルティオラ・センペル) とは
ラテン語で「常により高きを求めて」という意味です



巻頭言 分からない本のススメ ... P.1

P.3 著書紹介

P.6 学術情報センター(図書館)
公式Twitterアカウントを
開設しました。

P.5 図書館の在宅学習支援

— 図書館に行かなくても
できること —

ほか

分からない本のススメ

英米学科 准教授 衣川 将介

大学で文学を教えはじめてから、「おすすめの小説はなんですか？」と良く聞かれるようになった。そしてこの質問には、高い頻度で「私、文学ってよく分からないんです」という感想がセットでついてくる。つまり「分かりやすいおすすめの小説を勧めてください」ということなのだろう。無理を言わないで欲しい。そもそも私だって、読んでいる小説のほとんどをよくわかっていないのだから。

私はアメリカのマーク・トウェインという作家を主に研究している。トウェインと出会ったのは中学1年生の時だった。当時、父の仕事の関係でアメリカに住んでいた私は、通っていた現地の中学校の図書館で「ハックルベリー・フィンの冒険」を借りて読んだ。英語で読む、初めての大人向けの長編小説だった。当時どう思ったのかはあまり覚えていないが、よくわからない不思議な話だと感じたことはうっすらと記憶に残っている。それからそれなりに多くの小説を読んできたが、「よくわからない」というのが、今に至るまで私の小説に対する基本的な印象である。

トウェイン研究者には、彼の著作や彼自身が好きだから研究をしているという人が多い。トウェイン研究者に限らず、文学研究者は研究対象の作家や作品が好きで研究している人が多いのではないか。私は、トウェインも彼の著作も特段好きではない。もちろん嫌いでもないが、「好き」という感情を持ったことはない。よく分らないところがたくさんある作家だ、というのが、今も昔も一貫して思うことである。ただ昔と違うのは、「よく分からないからこそおもしろいのだ」と思うようになったことかもしれない。それは、文学全般に対しても思うようになったことでもある。だから私はおすすめの本を聞かれたら、まずはよく分からない本を選んでみることをおすすめする。

よく分からない文学作品に出会ったことがあるという人は、それなりに多いのではないだろうか。そしてそのよくわからなかったという事実に対して、自分は頭が悪いんだ、とか、文学のセンスが無いんだ、とか、そういった負の感情を抱いた経験もあるかもしれない。さらにその結果、難しそうな作品を敬遠するようになった人もいるだろう。

しかし、読むという行為に関しては「分からない」ということは悪いことではない。何故なら「分からないさ」は、「新しさ」と表裏一体だからだ。本当にもう何がなんだか全く分からないものに出くわした時、それは自分にとって本当に全く新しいものに出くわしたことを意味する可能性がある。「分からない」という感覚は、自分にとって新しいものを発見するためのバロメーターみたいなものなのだ。

自分にとって本当に新しいことというのは、そう簡単には分かることはできない。時間がかかる。そして人間は、「分からない」という感覚を嫌う傾向がある。「分からない」という状態は、不安とか、情けなさ、焦りやいら立ちといった感情に繋がりがちだ。しかし、読むという行為に関しては「分からない」という感覚は悪いものではない。むしろ必要不可欠と言える。「分からない」と感じて、「あ、わたしはまだこれが分からないんだなー」くらいに思い、「分からない」という感覚といった距離を取ってみるといい。姿の見えるものは、姿の見えないものより総じて怖くないのと同じように、「分からない」という感覚も、それを一度正面から見据えてみた方が付き合いやすいだろう。分からないということを恐れずに、焦らず平常心で読み進めてほしい。

わたしたちの日常は、よく分かる、すぐ分かる情報で満たされている。テレビのニュースをみて、新聞記事を読んで、「ぜんぜん分からない」と思う

だろうか。冷蔵庫の取扱説明書を読んで、「分からない」と思うだろうか。CMを見て、教科書を読んで、ツイッターやフェイスブックを眺めて、焦るくらい「分からない!」と思うだろうか。思わないだろう。しかし同時に、「分かる、分かる、分かる」と一々思うわけでもない。それは、もはや息をするのと同じくらい自然に「分かっている」からだ。そういった、情報の出し手によってできるだけ単純化され、分かりやすい形に加工された、もはや情報を取り入れているという感覚が無くなるくらいする入ってくる情報に囲まれて私たちは日々を過ごしている。

無論、それは決して悪いことではない。ニュースが一々分からなかったら困る。すぐ分かるように何かを伝えるということは、それ自体とても必要なことであり、また難しいことでもある。ただ、そのおかげで私たちは「分からない」という感覚に耐性を失っていくという側面もあるように思う。「分からない」という状態を避けたり、あるいは無理矢理「分かる」ために物事を単純化したりしてしまいがちだ。しかし、「分からない」という感覚を避けては、本当に

自分にとって新しいものごとを知る機会が閉ざされてしまう。文学というのは、読むものの中でも最も読者に「分からない」という感覚を起こさせるジャンルかもしれない。でもそれは単にムズカシイからではなく、文学が少なくない人間にとって本当に新しいことについて書いているからなのだと思う。

分からないものを頑張って読んでも、その時は結局、分からないままかもしれない。しかし、その「分からなさ」は経験として残るだろう。そしていつか将来、ふと「分かる」時が来るかもしれない。本当に自分にとって新しいことを「分かる」のに時間が掛かるのであれば、できるだけ早く「分からない」という経験をたくさん自分の中に蓄えておくといいかもかもしれない。中学・高校・大学の読書を通して経験した「分からなさ」が、今でも時々「分かる」ことが私にはある。昔読んでみて分からなかったからこそ覚えていた本を今読んでみると、ウソみたいに分かる。10数年前に播いた「分からなさ」の種が、10数年後の私に「新しさ」を与えてくれる。そういう時、分からないなりに色々読んでおいて良かったと思うわけだ。

■ 文中紹介作品 & マーク・トウェイン関連作品情報(図書館所蔵)

- | | | |
|---------|---|--|
| 原書 | { | <ul style="list-style-type: none"> ● <i>The Oxford Mark Twain</i> シリーズ：全29巻 (請求記号：N938.19-29-1 ほか) ● <i>Autobiography of Mark Twain, Harriet Elinor Smith, editor</i> Vol. 1 / Vol. 2 (請求記号：N930.28-1381 / N930.28-1381-2) |
| 和訳 | { | <ul style="list-style-type: none"> ● 柴田元幸編著、『ハックルベリー・フィンの冒けん』をめぐる冒けん』(請求記号：N933.9-1254) ● マーク・トウェイン著、大久保博訳、『トム・ソーヤーの冒険』(請求記号：N933.9-789) ● マーク・トウェイン著、和栗了[ほか]訳、『マーク・トウェイン完全なる自伝』 Vol. 1 / Vol. 2 / Vol. 3 (請求記号：N930.28-1470-1 / N930.28-1470-2 / N930.28-1470-3) ● マーク・トウェイン著、柴田元幸編、『マーク・トウェイン』(請求記号：N933.9-1059) ● マーク・トウェイン著、柴田元幸訳、『ジム・スマイリーの跳び蛙：マーク・トウェイン傑作選』 (請求記号：新潮文庫) |
| 参考資料 | { | <ul style="list-style-type: none"> ● 朝日由紀子[ほか]編集委員、『マーク・トウェイン文学/文化事典』(請求記号：N930.28-1378) ● Gregg Camfield, <i>The Oxford Companion to Mark Twain</i> (請求記号：N930.29-708) ● R. Kent Rasmussen, <i>Mark Twain A to Z: The Essential Reference to His Life and Writings</i> (請求記号：N930.28-1864) |
| オンライン資料 | { | <ul style="list-style-type: none"> ● Mark Twain Project Online : https://www.marktwainproject.org/homepage.html Mark Twain Project ... カルフォルニア大学バークレー校内にあるバンクロフト図書館付属のトウェイン資料室。トウェインの一次資料を編集し、オンラインで無料公開してくれている。手紙の一部、小説、旅行記、自伝等も読むことができる。 |

「日本語の起源」を 追い求めた 言語学者たちの 熱いストーリー

総合文化 教授
林 範彦 (はやし のりひこ)

高等学校の世界史や地理の教科書をひもくとくと、「インド・ヨーロッパ語系」や「アルタイ語族」といった言葉が載っています。これはかつて共通の言語(「祖語」と言います)を話した人々の言語のグループを示したものです。しかし、日本語はそのどのグループにもはっきりと位置付けられていません。ある教科書には「日本語は文法的にはアルタイ語族ツングース語派に属するが、語彙は南方のオーストロネシア語族やオーストロアジア語族の影響が強い」と言った「ぼんやりした」ことが補足的に書かれています。なぜでしょうか。

日本語の起源をめぐる問題は20世紀の日本の言語学の一大テーマでした。著名な言語学者たちがしのぎを削りながら、日本語のルーツを探る「旅」に出かけて行ったのです。今回ご紹介する本書は本学の長田俊樹客員教授が、国際日本文化研究センターで始めた共同研究班「日本語の起源はどのように論じられてきたかー日本言語学史の光と影」(2016年度)の研究成果として出版されました。研究班にはいわゆるアルタイ諸語や朝鮮語、オーストロネシア諸語、パプア諸語、琉球諸語、アイヌ語、日本語の錚々たる研究者が集い、毎回刺激的な議論が展開されました。筆者も研究班に加えていただき、日本語と専門とするチベット・ビルマ諸語との関係を議論した過去の研究の問題を扱いました。本書でも論考として出させていただきました。

それで、「本書を読めば何がわかるか」ということなのですが、残念ながら日本語の起源に関する決定的な結論は出てきません。

『日本語「起源」論の 歴史と展望

日本語の起源はどのように
論じられてきたか』

長田俊樹(編)
三省堂、2020.3発行

図書館所蔵：N810.29-28ほか



「なーんだ」と思うかもしれませんが、それもそのはず。20世紀の長い年月をかけて、研究者によっては人生をかけて取り組んできた問題なのですが、最終的には言語学的な結論には至らなかったのです。日本語が唯一系統を共にするのが琉球諸語なのは明らかですが、そこから先の世界には「謎の霧」がまだ立ち込めています。20世紀の末期には日本ではこの問題を扱う研究は下火になっていきました。一方で、欧州を中心に21世紀に入って日本語の起源の研究を始める人が増えているというのも興味深い事実です。

本書では20世紀に日本語の起源を解明しようと生涯をかけて取り組んできた言語学者の熱い物語を現代の専門家がクールに学問的に解きほぐしながら紹介しています。本書を読むだけで、明治期の日本の言語研究の考え方や比較言語学の基本的な手法、最近の遺伝学の成果を取り入れた研究、朝鮮語との関係や、アイヌ語や琉球語の諸問題など、詳しく理解することができます。高校世界史の教科書がなぜあんな書き方になっているのか、よくわかるはずですが、ただ、言語学をまだ学び始めだという人は、筆者の論文よりもまずは巻末にある長田俊樹先生の論考を読むことをお勧めします。日本語の起源だけでなく、日本の言語学の歴史を知りたいと思う人には必読の一冊となっています。ぜひ図書館で!

その他の著書情報

林 範彦著、『チノ語文法(悠楽方言)の記述研究』、
神戸市外国語大学研究叢書:43、2009年3月発行
(図書館所蔵：N051-1-43)

第22回(2020年度)図書館総合展ONLINEの ポスターセッションに当館も参加しました!〔2020.11.1-11.30〕

2020年11月1日から30日まで、第22回(2020年度)図書館総合展がオンライン開催され、当館もポスターセッションに参加しました。毎年横浜で開催されている本イベントですが、今年は新型コロナウイルスの感染拡大に鑑み、オンライン開催に。当館のポスターセッションページでは、新型コロナウイルス感染拡大を受けて、図書館が講じた対応を紹介しました。

- 紹介内容 ●
- 3密対策 ● 郵送サービス ●
- オンラインデータベース ● 在宅学習支援 ●
- 新型コロナウイルス感染拡大防止対策 ●
- おまけ(図書館紹介) ● 私たちについて ●



▲ 図書館総合展ONLINE 当館のポスターセッションページ

200字以内であなたのお気に入りの本を紹介してください。メールで氏名またはペンネーム・紹介資料書名・著者名を明記し、下記の宛先まで。学生、教員職員など利用区分に関係なくどなたでも応募いただけます。

library@office.kobe-cufs.ac.jp

- 注意事項
- 氏名またはペンネームを掲載させていただきます。
 - 外大図書館に所蔵がないものも応募できます。
 - 漫画・雑誌等はご遠慮ください。

「つながれ読書のバトン」投稿募集!

『ありえないほどうるさいオルゴール店』

瀧羽 麻子 著

形ある物は、いつか無くなってしまふ。音楽や思い出は、消えてもまた蘇ります。誰かと共有したこと、忘れた記憶、伝えられなかった想い：柔らかいメロディに包まれて身体の中へ。自分の心に流れている音とは。明日か遠い未来か、いつの

日か気付かされる瞬間が訪れる気がします。本の頁をめくりながら、ゆっくりオルゴールを廻している気分。外見からは分らない、ひとりひとりの人生(物語)。あなたの「思い出の伴奏」はー?



つながれ読書のバトン

対面授業が再開されましたが、図書館では在宅学習支援にも力を入れています。図書館に行かなくてもできることは意外とあります。ここで一緒に確認してみましょう。また、図書館のTwitterでも、在宅学習支援に関する情報を発信しています。

図書館の 在宅学習支援

図書館に行かなくてもできること

こちらのQRコードよりご確認ください！



郵送貸出

後期も引き続き、遠隔地に滞在の方に、図書館の本を郵送でお届けしています。

文献コピーの郵送

図書館所蔵雑誌の記事・論文のコピーも郵送でお送りしています。

データベースの 学外アクセス

ご自宅のPCやスマホから、一部のデータベースを利用することができます。

蔵書検索マイページ

マイページでは、返却期限の延長や論文検索などができます。パスワードの申請方法については、12/1付のGAIDAI PASSのお知らせをご確認ください。

図書館への メール相談

図書館では随時メール相談に応じています。資料探しなどでお困りのことがありましたら、お気軽にメールをお送りください。

在宅学習・研究 のためのリンク集

在宅での学習・研究に役立つウェブサイトのリンク集を作成しました。情報収集にお役立てください。

LAによるメール学習相談

図書館の大学院生スタッフ「ラーニングアドバイザー(LA)」が、メールで学習相談に応じています(期間限定)。レポートや卒論などでお困りのことがありましたら、お気軽にメールをお送りください。

在宅学習 レポート連載

図書館のウェブサイトでは在宅学習に役立つ情報をお届けしています(不定期掲載)。なお、期限が切れたサービスが一部ありますのでご注意ください。

Twitter

外大生のみなさんに役立つ情報をお届けしています(詳細はp.6を参照ください)。

LA通信大学生生活応援連載

図書館FBでは、LAのリレーエッセイを連載しています(不定期掲載)。LAの体験談やアドバイスのシェアを通して、外大生の大学生活に役立てていただくことを目指しています。

※2020年12月時点での情報です。今後変更される場合があります。





お知らせ

外大生に役立つ情報を随時発信！

学術情報センター(図書館)公式Twitterアカウントを開設しました。

図書館では、2020年9月の後期授業開始と合わせて、公式Twitterアカウントを開設しました。新型コロナウイルス感染症の影響が長引くなか、オンライン授業が継続されたことを受け、図書館でもオンライン上でさらなるサポートができないか考え、より迅速かつきめ細かい情報発信が可能なTwitterをはじめました。

Twitterでは、主に図書館のお知らせをツイートしていますが、単発的なお知らせにとどまらない運用を目指しています。2020年度は新型コロナウイルスの影響で、新入生オリエンテーションを実施できなかったため、それに代わるものとして、Twitter上でのオリエンテーションを試みました。館内案内や利用方法、さらには在宅学習支援サービスなどを豊富な写真とともにスレッド形式の連続ツイートで紹介しています。一連のツイートをご覧くださいことで、オリエンテーションでスライドを見ているかのように図書館の利用方法などを理解することができます。

また、気象警報等発令時における臨時閉館などの緊急情報や図書館の大学院生スタッフ「ラーニングアドバイザー(LA)」が学生生活の体験談やアドバイスを綴った、図書館Facebookのリレーエッセイ「LA通信」



フォロー

神戸市外国語大学 学術情報センター (図書館)

@KCUFSLib

神戸市外国語大学学術情報センターの公式アカウントです。図書館のお知らせ等を発信します。リプライ・DMへの返信は行いません。ご質問等はホームページの「お問い合わせ先」からお願いします。運用ガイドライン:kobe-cufs.ac.jp/library/Twitte...

kobe-cufs.ac.jp/library/

2020年9月からTwitterを利用しています

0 フォロー中 139 フォロワー

▲ Twitterトップ画面

の掲載情報もTwitterでお知らせします。これからも外大生に役立つ情報を随時発信していきますので、ご興味のある方はぜひフォローをお願いします。

Twitterアカウントについて

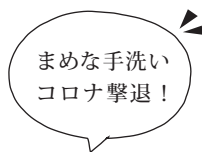
- 名前: 神戸市外国語大学学術情報センター(図書館)
- アカウント名: @KCUFSLib
- URL: <https://twitter.com/KCUFSLib>
※ Twitterアカウントをお持ちでない方も上記のURLからご覧になれます。

フォローおよび返信への対応等について

- 他アカウントのフォローおよびリツイート、「いいね」は原則として行いません。
- リプライやダイレクトメッセージには、原則として返信しません。ご質問・ご意見は、お手数ですが、ホームページの「お問い合わせ先」からお願いいたします。

📖 図書館日誌 《2020年7月～2020年11月》

| | | |
|-------|-----------|---------------------------------|
| 2020年 | 8.11-8.24 | 2020年度第2回 Reユース |
| | 9.1 | 蔵書検索マイページ仮パスワード発行メール申請期間延長 |
| | 9.7 | 暴風警報発令により臨時閉館 |
| | 9.17 | 学術情報センター公式Twitterアカウント開設 |
| | 9.22 | 郵送貸出/文献コピー郵送サービス第3期開始 |
| | 9.25 | 『神戸外大教師が新入生にすすめる本』在学生にカウンター配付開始 |
| | 11.1 | 第22回図書館総合展ポスターセッション参加(オンライン開催) |



| | | |
|-------|--|---|
| | | AD ALTIORA SEMPER vol.53 神戸市外国語大学学術情報センターだより 第53号 |
| ISSN | | 0919-2336 |
| 編集・発行 | | 神戸市外国語大学学術情報センター |
| | | 〒651-2187 神戸市西区学園東町9丁目1 |
| | | TEL : 078-794-8151 / FAX : 078-797-2257 |
| | | URL : http://www.kobe-cufs.ac.jp/library/ |
| 発行日 | | 2020年11月30日 |
| 発行責任者 | | センター長 芝 勝徳 |
| | | |